

施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 障子を建込む際、内倒しラッチのラッチ部先端を必ずサッシ縦枠のガイド部に入れてください。入ってないと障子が外れ、倒れるおそれがあります。(D部詳細図参照)
- 建込み後、障子の上部を持ち、手前に引き、外れないことを必ず確認してください。
- 枠の組立ての際は、雨漏れの原因にならないようにコーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように位置を合わせて、ねじ止めしてください。ねじ止め後、緩みやガタツキがないか確認してください。

施工上のお願

- FIX部へのガラス入れは、障子を建て込む前に行ってください。
- 組立ては、必ず指定のねじを使用してください。
- ラッチレバー・内倒しラッチ部に粉塵が入ると作動が重くなりますので、工事期間中は養生をお願いします。
- FIX部、障子部のガラス寸法は、それぞれダンボールに表示してありますので、ご確認ください。

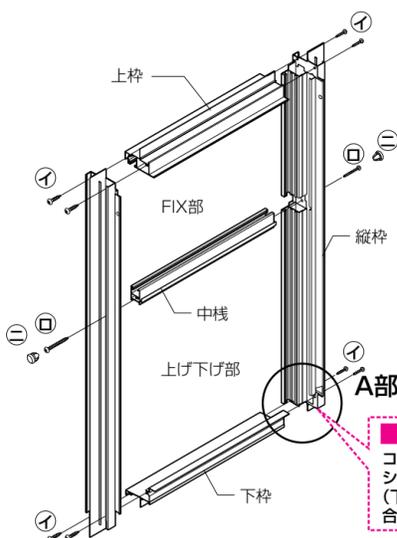
■部品一覧表

※図中①～④は部品の種類を表す。

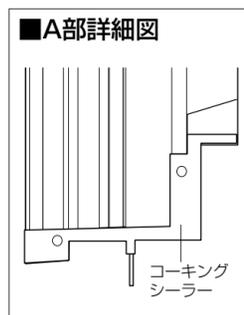
①	②	③	④
バインドタッピン ねじφ4×20	ナベタッピン ねじφ4×55	ナベタッピン ねじφ4×30	プッシュボタン

組立て順序

1. 枠の組立て

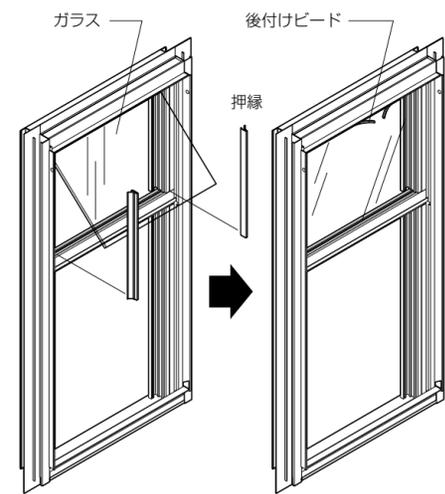


- ①ガラスを入れ、押縁を取り付けます。
- ②後付けビードを回します。



▲注意
コーキングシーラー
(下枠を確実に合わせます。)

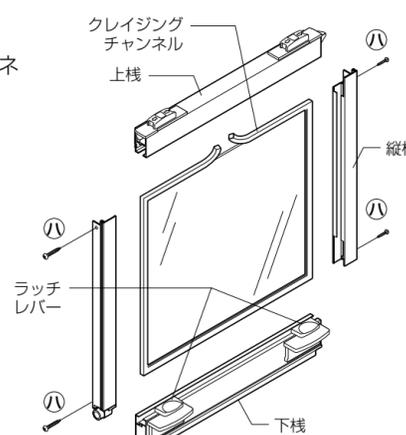
2. FIX部へのガラス入れ



3. 障子の組立て

(詳細図③参照)

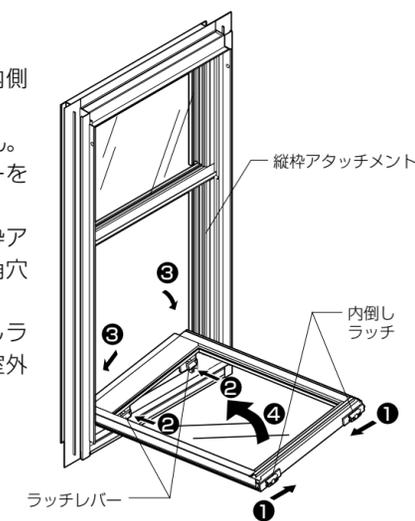
- ①ガラスにグレイジングチャンネルを回します。
- ②上・下棧を差し込みます。
- ③右・左縦枠を固定します。



4. 障子の建込み

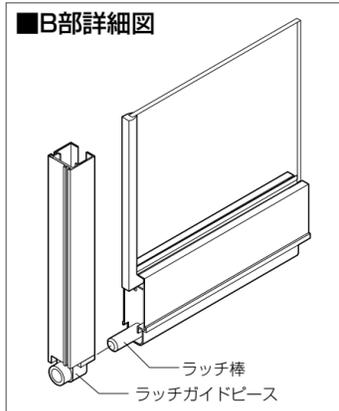
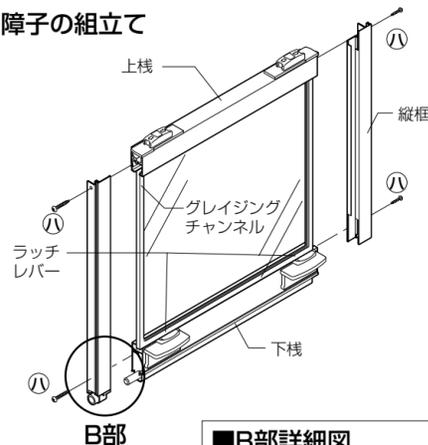
(詳細図④参照)

- ①内倒しラッチのつまみを内側に引き寄せます。
※つまみのボタンは押しません。
- ②障子を傾け、ラッチレバーを押し下げます。
- ③障子下部のラッチ棒を縦枠アタッチメントの一番下の角穴に入れます。
- ④障子を立て起こし、内倒しラッチが縦枠にかかるまで室外側に押し付けます。



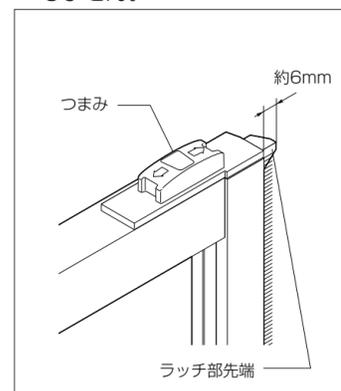
■詳細図

③ 障子の組立て



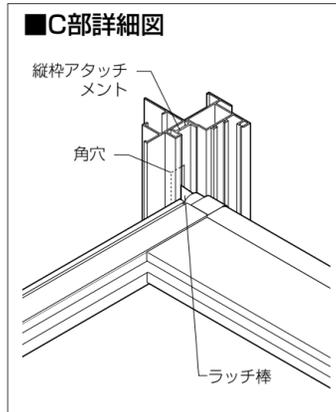
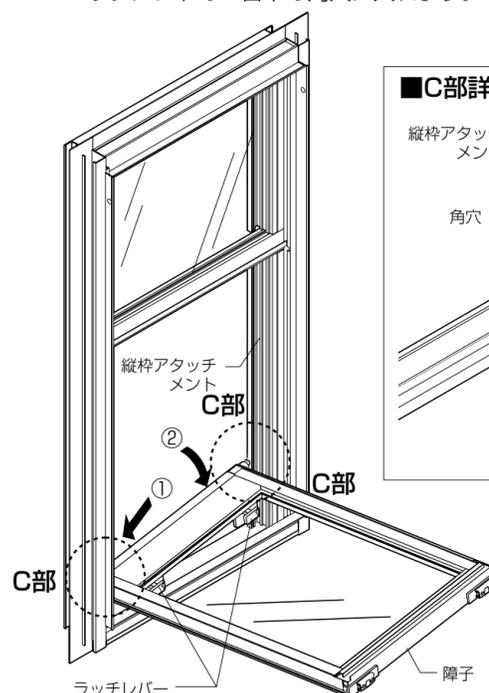
④ 障子の建込み

- ①内倒しラッチのつまみを操作して、ラッチ部先端を図の位置にしてください。
※操作の際、つまみのボタンは押しません。



※ラッチ棒を、ラッチガイドピースに確実にに入れてから固定し、ラッチレバー、ラッチ棒が作動することを確認してください。

- ②障子を傾け、ラッチレバーを押し下げます。
- ③障子下部のラッチ棒を矢印(①、②)の順序で縦枠アタッチメントの一番下の角穴に入れます。



- ④障子を静かに立て起こし、左右の内倒しラッチのラッチ部先端が、縦枠ガイド部にかかるまで室外側に押し付けます。
※縦枠にかかった時、カチッという音が出ますので確認してください。

▲注意…障子の上部を手前に引き、外れない事を必ず確認してください。

